



きやま

真庭市立木山小学校だより

第8号

令和3年 9月16日(木)発行

6年生のすばらしいリーダーシップ！！



運動会本番が目前に迫り、各組の応援練習も熱を帯びてきました。どの組も団長・副団長さんを中心に、6年生が練習をリードして盛り上げてくれています。5年生はそのサポートをしながら、ともに学ぶ姿が見られています。

3人の応援団長さんに、各組のウリや応援合戦を構成していくにあたって工夫した点を聞きました。

<赤組>「炎のように熱く燃え上がり、絶対優勝するぞ！」

団長:6年 辻本優海さん 副団長:5年 矢萩義騎くん

赤組のウリは、「声の大きさ」です。応援合戦では、もっと声を出し、振り付けなどきびきびと行動できるように練習してきました。より印象を強くするために、プラカードを作ったり、ボンボンを持ったりして、アピールを強調するよう工夫しました。



<青組>「練習してきた成果を出し切って、せいっぱいがんばるぞ！」

団長:6年 宮次沙奈さん 副団長:5年 飯嶋太郎くん

青組のウリは、「隊形の工夫」です。他の組ではしていない隊形をとることで、青組らしさを出しています。また、手作りのキラキラバンドを全員が着けて手の動作を強調したり、ランドセルを使ってアピールをしたりするなど、工夫しています。



<黄組>「きらめく星のように、一人一人がかがやくぞ！」

団長:6年 本山柚衣さん 副団長:5年 森心平くん

黄組のウリは、「動きの大きさ」です。「三・三・七拍子」をする時には、腕をしっかり伸ばして大きな動きをすることに加え、カスタネットも取り入れて、音でもアピールするようにしました。また、「優勝めざして全力疾走、かがやけ黄組」と模造紙に書いた横断幕も目玉の1つです。



各組の応援練習を見ていると、ある共通点が見えてきます。どの組も、1回通し練習が終わる度に、6年生がよかった点と次回修正する点や確認する点を下級生に丁寧に伝えてくれています。そして、残りの練習時間内にどの部分をどのように修正・確認していくのか、自分たちで考え自分たちで指示を出しています。

今年の運動会に向けては、全学年、「がんばりパワー（自分を高める力）アップ」と「なかよしパワー（友だちとつながる力）アップ」を目指し、自分の目指す姿をイメージしてめあてを立て取り組んでいます。6年生のこうした姿は、まさにそのめあてを体現しているものと、大変頼もしく思っています。こういう6年生の姿が、他学年へも受け継がれていってくれたら大変嬉しいです。



お力をお貸ください

運動場の状態がよくないため1日延期した予行も、本日無事に終わりました。今週は天候に恵まれず、明日以降も雨が心配される状況ですが、子どもたちは本番でベストを尽くそうと、各演技の最終仕上げを行っています。

最も心配されるのが当日の運動場の状態です。状況によっては、観覧席のテントを設置する前に運動場の水取りと整地をしなければならない可能性があります。その場合は、会場設営開始前、7時より運動場整備を始めたいと思いますので、可能な方はぜひともお力をお貸ください。

運動場整備が必要なく、予定通り7時30分から会場設営ができるようでしたら、6時頃うさぎメールにてその旨をご連絡させていただきます。大変ご無理を申し上げますが、どうぞよろしくお願いいたします。